

# 進路だより

# No.2

4月から校長先生と一緒に県内企業へご挨拶にまわってきました。そこでのお話を今回は掲載してみようと思います。いろいろとお話をする中で、企業が『高校生に望むこと』をちょっとまとめてみましたので、読んでみてください。

「**評定平均**」というのは、各教科で出された5段階評定を平均したものです。企業や学校によって**評定平均**△、△点以上が条件であるとして設定されていますが、個々によって異なります。「3年生の時だけががんばればいい。」というわけにはいきません。

ある日の進路指導室での面談です。ある会社の人事担当の方が、「先生、うちはそんなに欠席のことは厳しく言いませんよ。まあ、3年間で3日くらいの欠席であればOKです。安心してください。」これに対し、先生は「・・・(絶句)」でした。面接の時に、欠席が多いと体調管理ができないと思われれます。逆に皆勤であれば、自信をもって面接に挑めます。なるべく休まないようにしましょう。

最近、企業の方からよく、「一日中コンピュータをやっているような生徒さんや、誰とも、または限られた人としか話さないような方だとちょっと…(苦笑)。」と、というような話を聞きます。また、「特別難しい敬語を話さなくてもいいんですが、話し方を知らない生徒さんも困りものです。」ともおっしゃっていました。「その時になればできる。」でしょうか？日頃が大切ですね。

## 高校生に望むこと (選考試験で重要視すること)

1. 3年間の学内成績平均点が △、△以上であること。(五段階評価)  
平均点の算出方法は、3年間の履修科目の評価合計点を履修科目総数で割り平均点として下さい。自分の評定が現在わからない生徒は、担任の先生に聞いてみてください。
2. 3年間の欠席日数△日未満、遅刻回数○回以下であること。  
欠席日数は、クラブ活動での怪我、事故等による入院は除きます。学校での頑張り健康管理ができる人材を望んでいます。
3. コミュニケーション能力が高い人  
目上の人と話ができたり、質問に対して自分の考えを持っていたり、自分のことを話すことができたりする人のことです。たとえば質問に対する回答が、単語だけに終わらず、きちんと話を進められる人のことともいえます。もし難しいようでしたら、まずは「はい」か「いいえ」でも言えるようになりましょう。
4. 髪型や服装などに清潔感があり、高校生らしく元気がある者  
高校生として清潔感があり、ものごとを常に前向きに捉え、自己を成長させようと元気に毎日を送ろうとする考えや行動力のあることが望まれます。かわいがられる人物になりましょう。
5. 言葉遣いやマナーが良く、生活態度が良い者  
目上の人への最低限の敬語を使えない、挨拶ができない、返事をしないなど、自分勝手な行動をするような人は困ります。

先に書いた3.にも関連しますが、言葉遣いについては、1つだけ頭に入れておいてください。それは「会社(配属先)には同じ年の人はほとんどいない。」ということです。部活動生が好まれる理由がここにあります。先輩後輩の関係を十分経験しているからです。

## 1・2年生へ

「進路」について、「3年になってからでいいや。」とか「3年になってから勉強すればいいや。」とか思っていないですか？じつは... 1,2年生の成績や出欠が、大切な要素となっているのです。「3年生ではないから。」という理由で、簡単に欠点をとっても“重大なこと”と感じていないのではありませんか？1,2年生は、会社(学校)を受けたいとなったときのことを想像してみてください。今からでも遅くありません。頑張りましょう。

**就職選考試験は、あなたが入社して必要十分な能力が備わっているかを確認することが目的です。**  
**その企業が望む力とは、何か課題に直面したときに、前向きに捉え行動する姿勢があるということと言えます。これだけはすぐに身に付けられるものではありません。**  
**そのためにも、日頃から努力する必要があるのです。**

## 各学年のこれから取り組むこと

### ☆1年生

まずは勉強に頑張る。欠席をしない。できれば部活動に入部するほうがよい。

### ☆2年生

2年生は修学旅行などの行事があり、高校生活を語るうえで最も充実できる学年です。しかし中だるみしやすい1年間でもあります。ここでの頑張りしだいで、まわりとの差が出てきます。最も進路実現にとって重要な学年です。

### ☆3年生

今までやってきたことは、もうどうしようもありません。就職試験まで時間はありませんが、3か月間一生懸命勉強すればまだまだ変わることはできます。とにかく先生から言われたことには、全力で取り組み頑張りましょう。

会社内で、髪を染めている人などいますが、あくまで自分の言動に責任をとれる大人であることを忘れないこと。会社を受験する際、清潔感の無い姿でもし受験すれば、会社に入りたくない気持ちがないと判断されます。高校生らしく元気があるということは、職場に活気を生み出してほしいということです。企業はあなた達の若さに期待しています。決して最初から仕事ができるとは思っていません。まずは大きな声であいさつができるかです。